

町内5学園 小中一貫教育本格実施！ 計画第2期最終年

小中一貫・CS 通信

NO.21 R2.12.23 幕別町教育委員会 学校教育推進員

明日の終業式をもって2学期が無事終了します。十勝管内を含めて全道、全国で感染拡大が続いていますが、幕別町は何とか踏みとどまることができています。感染防止に万全を期しながら、1学期にできなかった行事を実施したり修学旅行や文化祭といった大きな行事を成功させたりした各学校の奮闘に頭の下がる思いです。年末年始は束の間の休息とはなりますが、ぜひ疲れた心と体を癒し新年への鋭気を養ってほしいものです。激動の令和2年、本当にお疲れ様でした。さて、今月は、小中一貫教育・CS推進連絡会議の様子と各学園の活動報告を中心にお知らせします。

小中一貫教育・CS推進連絡会議開催 12/17

12月17日(木)に第1回小中一貫教育・CS推進連絡会議が開催されました。5月に予定していた会議がコロナ禍のため中止となり今回は第1回となります。コロナの感染拡大が続いていることから、Zoomを使ったりリモート会議とし教育委員会と5つの学園会場を結んで行いました。

冒頭に宮田学校教育課長、喜多会長の挨拶があり、そのあと各学園から今年度の成果と課題について報告がありました。コロナ禍の中でも、各学園が工夫した取組をしていることが分かり、大変参考になりました。途中、画面共有のスライドが映らない等のハプニングもありましたが、経験値を上げるいい機会だったと思います。

休憩をはさんで質疑応答に入り、「ICT活用の課題は？」(まくべつ学園から糠内学園へ)、「9名のCSサポーターはどんな方々？」(さつない学園から札内東学園へ)「乗入授業の充実のコツは？」(糠内学園からまくべつ学園へ)などの質問が出され、それぞれの学園から説明がありました。また、ふるさと学習などで外部講師を呼ぶための費用についての質問もありましたが、それについては教育委員会から「早め早めに計画してもらえれば、予算を要求することもできるので申し出てほしい。」との回答がありました。

最後に喜多会長が「各学園が工夫して取り組んでいることがよく分かった。今後もコーディネータ同士の交流を進めてほしい。」と挨拶し閉会しました。

今回のリモート会議では、プロジェクター等で画面を大きく映し出すなどの工夫がされ、数人同時の参加をも可能にしました。資料を画面に映し出すことで集中して聴けることや、町内各所に居ながら会議ができること等、リモート会議の利便性を改めて強く感じました。リモート機能を日常的に使う大きな契機となりました。また、情報交流によって多くのことを学び合えたこと、コーディネータのすばらしい活躍が見られたことも成果として挙げられます。

今後も、コーディネータを中心に、今回の会議に参加しなかった先生方にも会議の内容を広め、小中一貫教育とCSをさらに進めていきたいと思っております。遅い時間まで参加していただいた委員



教育委員会会場



まくべつ学園会場



さつない学園会場

の皆様、サポート役を務めていただいた教育研究所本間副所長に深く感謝いたします。ありがとうございました。

(裏に続きます)

教育委員会全員協議会で活動報告！ 糠内学園

11/27

11月27日(金)、教育委員会全員協議会の場で、教育委員の方々に糠内学園の活動について説明・報告する機会がもたれました。教育委員の学校訪問がコロナ禍の影響で取り止めになった代替措置としての企画の、3回目となります。

全員協議会の初めにリモートで20分ほど報告の時間を取り、田中学園長が学園の取組について説明しました。経営方針と組織体制のアップデートについて、4つの推進事業について、学園評価のアップデートについて、評価結果と改善についての5点にわたって報告しました。その後、糠内小学校の取組を奥田事務局次長が、明倫小学校と糠内中学校の取組を田中学園長が報告しました。

教育長から小小連携についての質問があり、奥田事務局次長が合同学習や合同マラソン大会の様子を報告しました。また、小尾職務代理者から「コロナ禍で例年通りにいかないことが多いが、あるべき学校の姿を体感させる取組をこれからも工夫してほしい。」との要望・激励がありました。



説明する田中学園長



さつない学園も活動報告！ 12/16 教育委員会全員協議会

12月16日(水)の教育委員会全員協議会では、さつない学園が活動報告を行いました。今年度はコロナ禍のため、例年の活動ができなかったため、昨年度の活動を中心に橋本学園長が報告しました。また、今年度の取組と課題について村尾委員が報告しました。100名超えの教職員を抱える学園内の意思疎通をどうするか、合唱を軸とした活動の継続性や、合唱にさらに加える柱をどうするかなど難しい課題があります。教育委員から、リモート授業の様子やコミュニティスクール(CS)の進め方について質問が出されたほか、CSのメインとなる地域学校協働活動への期待やすばらしい合唱の灯を絶やさないでほしい等の要望が出されました。



札内東学園合同造形展開催！ 10/31～11/16 百年記念ホール

札内東学園独自の合同造形展が10月31日(土)から11月16日(月)まで17日間にわたって開催されました。例年行われる十勝子ども大会が中止になり、子ども達の作品発表の場が減ってしまったことから学園の取組として企画したもので、札内東学園三校の児童生徒全員の作品が展示されました。会場には授業で取り組まれた図工・美術作品や家庭科作品がずらりと並べられ、にぎやかな雰囲気となっていました。今年度限りの企画ですが、保護者・地域の方々が多数来場され、子ども達の作品を熱心に観覧する姿が見られました。感激と感謝のコメントも多数寄せられたと聞きます。コロナ禍のため例年通りにいかないことが多いのですが、できることを工夫しながら各学園が取組を進めています。



札内東学園地域学園協働本部設立総会、残念ながら延期に！

11月25日(水)に予定されていた札内東学園地域学園協働本部設立総会ですが、コロナ禍のため延期となり、感染状況が落ち着いてから改めて開催することになりました。ただ、募集していた活動協力員には9件の応募があり、いよいよ組織が形になってきました。今後、情勢を見ながら具体的な活動を開始することになります。

CSの新たな段階に進もうとしている札内東学園に今後も注目です。

以下の会議も中止になりました。 札内東学園運営協議会(11/25 予定)
まくべつ学園実践交流会(12/2 予定)、さつない学園教職員研修会(12/25 予定)